

日本天文学会2026年春季年会のお知らせ

2026年春季年会は、2026年3月4日(水)から3月7日(土)までの4日間、京都産業大学(京都市北区)にて開催を予定しております。参加方法の詳細については、tennet や年会ホームページで随時お知らせいたしますので、注視していただくようお願いいたします (<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)。

開催にあたっての注意事項

- ・遠隔地から参加していただけるように、現地およびオンライン(ベストエフォート)のハイブリッド開催とする予定です。
- ・現地でのご入場受付では、QRコードのご提示が必要となります。
- ・ご入金の確認が完了次第、QRコードをメールにてお送りいたしますので、当日は忘れずにご持参くださいますようお願いいたします。

(1) 年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	正会員学生：2,000 円(不課税) 正会員一般：5,000 円(不課税) 準 会 員 ：5,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み)	参加申込が必要です
講演登録費	2,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み・ 企画セッションのみ)	1講演につき、一緒に 参加費の支払も必要です
講演予稿集	2,000 円(消費税込み)	2,000 円(消費税込み)	

※事前に講演登録費のお支払いがない場合、銀行振込にて1,000円を足してお支払いいただきます。

※領収書は入金確認完了メールからダウンロードしてください。

※お支払いいただいた参加費・講演登録費は、原則として返金いたしません。重複払いにお気をつけください。

●参加証明について

現地参加の場合：当日受付でお渡しする名札で、年会の参加証明といたします。

オンライン参加の場合：必要な場合のみ、参加申込時にフォーム上でお申し込みください。年会終了後に証明書をメールで送付いたします。

●講演予稿集について

年間購読され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、参加申込時にお申込・ご精算ください。郵送いたします。

・支払期間

●講演登録費：2025年11月25日(火)正午 ～ 12月9日(火)正午

講演者の方は、上記期間に参加申込と参加費の精算を行ってください。お支払いがない場合には講演が取消になる場合がございますのでご注意ください。

●参加費：2026年2月3日(火)正午 ～ 3月7日(土)正午

原則として会期前にお申し込みください。会期中でもお申し込みは可能ですが、クレジットカードのみでの精算となります。現金での精算は行いません。申込は、後日ホームページなどでお知らせするWebフォーム上で行っていただきます。

・支払方法

●原則クレジットカード支払です。

※講演申込時の決済ページの URL は、自動返信メールに記載されています。

※支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス(fincode by GMO)を利用しております。

※取り扱いカードは、VISA, MasterCard, JCB, AMEX, DINERS の 5 種類です。

※クレジットカード支払が困難な方は、支払期間内に銀行振込でお支払いください。

●銀行振込

銀行名：三菱UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通4434400

口座名義：シャダンハウジンニホンデンモンガッカイ

※振込人の名前の前に、会員番号(入会申請中の方は入会申請受付番号)をお書きください。

(2)受付期間

通常セッションにおける講演は会員(正会員・準会員)に限られております。非会員の方は、講演申込の前に学会への入会申請をする必要があります。詳しくは年会ホームページをご参照ください。

事 項	受付期間・期限(日本標準時)	関連項目
講演申込(電子メール)	2025年11月25日(火) 正午 ～ 2025年12月2日(火) 正午	(3), (4), (5) 参照
講演登録費支払	2025年11月25日(火) 正午 ～ 2025年12月9日(火) 正午	(1) 参照
参加申込・支払	2026年2月3日(火) 正午 ～ 2026年3月7日(土) 正午	(1) 参照
複数講演の順序指定	2025年12月9日(火) 正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2026年2月17日(火) 正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー	2026年2月17日(火) 正午まで	(8) 参照
講演の変更など	わかった時点で直ちにご連絡ください	(9) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2025年11月25日(火) 正午まで	(10) 参照
正会員用展示ブース	2025年11月25日(火) 正午まで	(11) 参照
旅費一部補助	2025年12月2日(火) まで	(12) 参照
各種の会合申込	2025年12月9日(火) 正午まで	(13) 参照
保育室の利用申込	2026年2月6日(金) 正午まで	(14) 参照
懇親会の申込	2026年2月11日(水) まで	(15) 参照

(3)分野と「企画セッション」

- ・講演分野は次の16分野です.

M.太陽, N.恒星・恒星進化, P1.星・惑星形成(星形成), P2.星・惑星形成(原始惑星系円盤), P3.星・惑星形成(惑星系), Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.観測機器(電波), V2.観測機器(光赤外・重力波・その他), V3.観測機器(X線・ γ 線), W.コンパクト天体, X.銀河形成・進化, Y.天文教育・広報普及・その他

- ・「企画セッション」は次の3件です. ○印は世話人代表者です.

Z1.「天文学史研究の拡大と展望:Cultural Astronomyとしての天文と歴史」(略称:天文学史)

世話人:○玉澤春史(東京大学/京都市立芸術大学), 真貝寿明(大阪工業大学), 松浦清(大阪工業大学), 澤田幸輝(沖縄女子短期大学)

Z2.「PeV宇宙線加速器ペバトロン探査の現状と今後の展望」(略称:ペバトロン)

世話人:○辻直美(東京大学), 田中孝明(甲南大学), 井上剛志(甲南大学), 齋藤隆之(東京大学), 佐野栄俊(岐阜大学)

Z3.「全天多周波数帯ミリ波・サブミリ波偏光マップがもたらす天文学の新たな知見」(略称:全天偏光マップ)

世話人:○松村知岳(東大Kavli IPMU), 市来淨興(名古屋大学), 藤本龍一(宇宙航空研究開発機構)

- ・企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます. 講演者は世話人に対して講演申込みを行います. tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みの際は世話人からの指示に従ってください. なお, 講演登録費をお支払いの際には, 世話人が全ての講演を投稿した後に, 世話人から届く受付番号が必要となります.

(4)講演の形式

- ・a 口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); b ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表); c ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)の3種類を予定しています. 講演時間は, 講演数によって変更することがあります. 講演は現地で行っていただくことを想定していますが, オンライン講演も受け付ける予定です(ベストエフォート). 開催地および運営の負担を減らすため, 子育てや介護など特別の理由がある場合以外は, 現地での講演をお願いいたします. 詳細が決まり次第ご案内いたします.

また, ポスターは現地会場での掲示に加え, Web上でも公開を予定しています. 実施方法の詳細については, 年会ホームページ(<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)に掲載いたしますので, 注視していただくようお願いいたします.

- ・講演者1人あたり可能な講演数は最大3件です. また, a講演は1人1講演までで, 3件目の講演はc講演(ポスターのみ)に限ります.

- ・なお, コロナ禍対応として実施していたSlackによる交流の場の提供は, 本年会より廃止といたします.

(5)講演の申込方法(電子メール)

- ・年会ホームページに掲載します. 説明をよく読んで申込を行ってください.

- ・年会直前に行われる記者会見の受付も同時に行います. 詳細は tennet や年会ホームページでお知らせします.

※郵送による申込は受け付けておりません.

※締め切りは 2025 年 12 月 2 日 (火) 正午 を厳守してください. この締め切り日時を過ぎた申請は原則として一切受け付けません. また, 締め切り当日のトラブルには対応できない場合もありますので, できるだけ締め切り前日の夕方までに投稿されることをお勧めします.

※講演は完成度の高いものに限ります. 予稿の紙面を有効利用してください. 予稿集は広範な読者が読むことを

想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずです。以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2026年2月20日（金）付で発行する予定です。年会ホームページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際などは、十分ご注意願います。

※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

※講演予稿の「キーワード」は、Y分野以外は、下記のPASJ Keyword listを使用いただきますようお願いいたします。

<https://academic.oup.com/pasj/pages/PasjKeywords>

(6)複数講演の順序指定

- ・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込後、期限内に年会ホームページのWebフォームから申請してください。
- ・講演日時に関する要望は一切受け付けられません。
- ・b講演は2時間のセッションの最後にスケジュールする予定です。順序指定にa講演とb講演が含まれる場合は、b講演を最後に並べてください。ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。

(7)ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- ・PDLは、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、通常の講演申込の〆切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人・グループの事情は不可）が必要です。
- ・申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請いただいた内容は年会実行委員会では審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込よりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- ・PDLの講演形式は、原則、c ポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）になります。ただし、プログラムに余裕がある場合は、b ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）も可能です。希望する形式を記入してください。
- ・PDLの受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。
- ・日本天文学会年会における発表は、PDLも含め天文学会員に限られているため、非会員の方は天文学会員になる必要があります。PDLの審査に加え、会員になる手続きにも時間を要しますので、PDL申請を考えている非会員の方は、まず年会実行委員会にお問い合わせください。

(8)最新情報コーナー

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。通常の講演に相当する内容で、本年会で公表する緊急性のないものは最新情報として受け付けません。また、最新情報は年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。
- ・掲示を希望する場合は、掲示内容の概要と掲示者の情報を年会実行委員会に事前に申請してください。
- ・スペースが無くなれば受け付けを終了することがあります。

(9)講演のキャンセルや変更

- ・申し込んだ講演については、年会実行委員会の承認なくキャンセルすることはもちろん、登壇者、講演題名、講演著者、講演内容も変更することはできません。
- ・やむをえず講演をキャンセルしたり、登壇者を変更したりする場合は、共著者の承諾を得た上で、年会実行委員会

にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更を希望する理由を添えて、原則講演者(登壇予定の方)が速やかに年会ホームページのWebフォームから申請してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理登壇者を立ててください。なお代理登壇者は原則学会員(正会員・準会員)とします。会期中、直前の申し出は承認できない場合があります。

- ・講演申込後に講演をキャンセル等しても、講演登録費および参加費の返金はいりません。
- ・講演の申込時に、筆頭著者と講演者を別にすることはできます。筆頭著者は「講演予稿集」の講演者リストの先頭に記され、申込時の講演者(登壇者)は「年会プログラム」で確認することができます。

(10) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つ話題について、特別セッションを開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会にご相談ください。

(11) 正会員用展示ブース

- ・正会員用の展示ブースのスペースを設けます。展示を希望される場合は、ブース名・趣旨・世話人(正会員3名以上)を記載して、期日までに年会実行委員会までお申込ください。面積は1区画2×2m～3×3m(開催地の事情により異なる)、展示費は50,000円です。
- ・賛助会員の皆様への展示案内は、別途郵送いたします。

(12) 旅費一部補助

- ・日本天文学会では、正会員(学生)に年会出席旅費(交通費)の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページ https://www.asj.or.jp/jp/activities/expenses/travel_grant/ をご覧ください。
- ・オンライン講演の場合、補助はありません。

(13) 年会時の各種会合

- ・会合などのために講演会場などを使用したい場合には、年会実行委員会が承認の上、部屋を使用できます。年会ホームページのWebフォームからお申込ください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります(時間厳守)。並行して午後のセッション準備が行われますのでご注意ください。午後のセッション開始の15分前を目処に会場を開け渡すようご配慮ください。プロジェクターを含む機材やネットワークのサポートは行いません。また、部屋の人数にも制限があることをご了承ください。

(14) 年会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載します。不明な点は年会実行委員(保育室担当)へ e-mail (nenkai-hoiku@asj.or.jp) でお問い合わせください。

(15) 懇親会

- ・懇親会は、年会3日目にあたる2026年3月6日(金)夜に、フィエスタ河原町にて開催予定です。
- ・会費は2026年2月11日(水)までに事前予約された場合は日本天文学会会員・非会員共に、一般6000円、学生4000円。それ以降に申し込まれた場合は、一般7000円、学生5000円の予定です。
- ・会場の都合により、参加人数は250名までとさせていただきます。
- ・天文学会会場とは離れていますので、事前に交通手段をご確認ください。
- ・詳細は、後日 tennet でお知らせするWEBページをご確認下さい。

(16)連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: nenkai-committee@asj.or.jp

委員長 和泉究(年会実行理事・宇宙航空研究開発機構)

電話:070-1170-2758

年会係 田口谷怜奈(日本天文学会)

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会

電話:0422-31-5488 FAX:0422-31-5487 e-mail: nenkai@asj.or.jp

◆開催地組織委員会 e-mail: asj-202603@cc.kyoto-su.ac.jp

ホームページURL: <https://sites.google.com/view/nenkai2026haru/>

委員長 米原厚憲(年会開催地理事・京都産業大学)

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学 理学部 宇宙物理・気象学科

電話:075-705-1623

年会開催期間(2026年3月4日～7日)の連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会ホームページ: <https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>

和泉究(年会実行委員長)